



2024.09

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

2024年度

外国人による徳島県日本語弁論大会



7月21日（日）、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）にて第35回目の「2024年度外国人による徳島県日本語弁論大会」を、徳島県及び（公財）徳島県国際交流協会の主催により開催し、出場者、審査員、来場者等合わせ約140名にご参加いただきました。

今回の大会には、5か国14名が出場し、徳島で出会った憧れの人やそれぞれの文化を理解することの大切さ、そして彼らの夢などについて日本語で熱弁を振るいました。

昨年度から、再開した交流会では、出場者と来場者が共に楽しいひと時を過ごされました。

今大会、最優秀賞に輝いたのは、中国出身の鳴門教育大学留学生のリュウ チョウさん、徳島県議会国際交流議員連盟会長賞に輝いたのは、技能実習生でインドネシア出身のセプティ ウイディア プトリさんです。

本大会の報告は、すでに当協会のホームページに掲載しておりますと同時に、後日、動画配信をいたしますので、ぜひご覧ください。

日中友好交流について、私にできること

リュウ チョウ（中国）

皆さん、こんにちは、私は特別聴講生として、中国の青島大学から参りました刘畅と申します。今鳴門教育大学で在学しています。今日、私が発表するテーマは「日中友好交流について、私にできること」です。どうぞよろしくお願いたします。

この課題について、私は四つの観点から皆さんにお話ししようと思います。まず、1つ目。日本語を勉強している外国人である私たちは、日本語や日本に関する知識をきちんと学ぶべきだと考えます。日本の文化や、風習などもできるだけ多く、深く吸収していくべきだと思います。私は、高校3年生から学校の授業を通じて日本語の勉強を始め、大学ではより学びを深めたいと思い日本語を専攻し、いつか日本に留学に行ける日を心待ちにしていました。そして、今実際にこの場に立つことができています。日本に来たからには、日本で日本人のポジティブなエネルギーをもらい、TikTokや哔哩哔哩(ビリビリ—中国のアプリ)での配信を通して、中国人にリアルな日本を宣伝することで、まずは日本や日本人について知ってもらおうきっかけを私が作りたいです。

次に、日本人の友達を作りたいです。その友達に中国の伝統文化や中国ならではの食べ物などを積極的に伝え、それが段々と大きな輪になり、周りの人々に広がっていくようにしたいです。また、日本人に中国文化を紹介すると同時に、中国人に日本文化を広めていきたいです。そのために、日中友好交流に関わる交流会やイベントに参加し、日本人との交流を通して異文化理解に努めます。こうすることで、相手国の長所を取り入れ、母国の短所を補えると思います。お互いの関係は、このような人と人との関わりを通じて、だんだん良くなっていくと信じています。

さらに、私は、日中両国はお互いに対する理解が不足していると感じます。そのためには、文化、歴史だけではなく、日常的なモノを伝えるのが良いと思います。例えば、私たちは多くのSNSを通じて、中国の風景や食べ物、様々な中国らしいものを日本人に伝え、世界でも有名な日本の電化製品や文房具など日本らしいものを中国人に伝えることができます。お互いの国



の誇るものを語り合ったり、美を伝えたりします。つまり、民衆レベルの交流を進めることが日中友好交流の大きな鍵だと思います。

最後に、現在、日本で、あるいは、中国のドラマやバラエティ番組など、相手国の顔に泥を塗る表現や行為が見られます。例えば、日本人は中国人のマナーが悪いというイメージを持っています。また、中国人は日本人の背が低いと思っています。このような誤解の例は山ほどあります。まず、日本語を勉強している私たちが、日本の文化的背景について理解を深めることで、できるだけ事実を発信し、これらの無責任な間違いを減らしていきたいです。中国人の友達に日本のポジティブな面、日本人の友達に中国のポジティブな面を伝えることで、お互いに相手を尊敬する関係を築いていくことができるのではないのでしょうか。

最後になりますが、私たちは身近な小さなことから始め、お互いの交流を深め、客観的に相手を理解するように努力している途中です。中国も日本もアジアに属し、両国の歴史は長く、親和性（しんわせい）が高く、経済には補い合う力もあります。新時代の青年として、力の限り手が届くことをすべきです。私は日中両国が、必ず協力と互惠（ごけい）の新時代に入ると信じています。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

（原文ママ）

当協会YouTubeチャンネルで配信いたします。

徳島県国際交流協会 YouTube



この夏にドイツからの国際交流員のラスムス ブルクマーさんが任期を終えられました。在任中は徳島県とドイツ・ニーダーザクセン州との交流推進や国際交流の推進などに努められました。これからの益々のご活躍を期待しております！また、7月・8月に2人の新国際交流員の方が着任いたしましたので、ご紹介いたします。

着任挨拶

TOPIA ニューフェイス



徳島県国際交流員
ライリー ヒンキー

はじめまして。アメリカのミズーリ州から来たヒンキー・ライリーと申します。ミズーリ州立大学で日本語と犯罪学を勉強して、二つの学位を取得しました。幸運にも、大学の勉強で1年間東京にある日本語学校に留学することができました。大学を卒業した後、翻訳学校で日英翻訳も学びました。

私が日本に興味を持ち始めたのは、幼い頃に自分の好きなゲームのほとんどが元々日本から来たものだ気づいたからです（特に好きなのは「レイトン教授」、「逆転裁判」、「ZERO ESCAPE」等）。他に、日本の音楽もカラオケも大好きです。それ以外、他の趣味は読書と自然で、または静かな喫茶店でゆっくり過ごすことです。

徳島県に住んでいる間、日本の好きなところがどんどん増えていくのが楽しみです。また徳島にいる間、国際交流員として徳島の国際交流に貢献し、徳島に住む外国人や徳島を訪れてくれる方々を精一杯サポートしたいと思っています。徳島がこれからも、誰もが自分の居場所だと感じられるような場所であるよう、協力していきたいです。

皆さんと交流できることを本当に楽しみにしています。もし私を見かけたら、遠慮なく声をかけてください！



徳島県国際交流員
リザ クニタ

はじめまして。リザ・クニタと申します。出身はドイツのベルリンです。8月から国際交流員として徳島県庁と徳島県国際交流協会に勤務することになりました。私の主な業務は徳島県における国際交流の支援や、県内に住む外国人をサポートしたりすることです。

徳島に赴任してから、1週間半後には、徳島の看護訪問団と共にドイツに行きます。ドイツのニーダーザクセン州と徳島県は友好関係の長い歴史を基に看護以外の幅広い分野でも積極的な交流を行っていますので、この仕事に大きな楽しみを感じています。

徳島に来る前はベルリン自由大学と大学院で日本の歴史、文化と文学を専攻し、日本学を勉強しました。日本に興味を持ったきっかけは、中学校2年生の時から選択科目として日本語を勉強したことでした。この13年間で学んだことを活かし、新しいことにも挑戦しながら、国際交流員として一生懸命頑張りたいと思います。

出身地のベルリンとその周辺地域はとても平らな地域ですので、山や海もある徳島に来られたのはとても嬉しく思います。美しい景色に囲まれて仕事と生活できることに感謝しつつ、フリータイムにはハイキングや徳島県内、四国、日本全国を旅行したいと思います。



TOPIA 日本語支援にかかるとる取組

2023年12月末時点で徳島県内在住の外国人住民は約90か国7,949人と過去最高となりました。徳島では、県民約90人に1人が外国人住民で、その約9割がアジア諸国からです。

当協会では、平成2年の設立以来、外国人住民が徳島で安全かつ安心して暮らせるよう、日本語支援を行うと同時に、日本語支援ボランティア等のスキルアップを図る講座を開催しています。今年度も、様々な講座を開催しておりますので、その報告をさせていただきます。

※以下の日本語関連の事業は、文部科学省及び徳島県の協力により、実施しています。

日本語支援ボランティアスキルアップ講座

講師：羽吹 幸氏（国際交流基金（JF））
 日時：6月22日（土）13：30～16：30
 開催場所：TOPIA会議室（ハイブリッド開催）



仕事などの理由で、日本語教室に通うのが難しい方や、自主学習を希望される方、さらには地域の学習者の中から、仕事のスキル向上を目的として国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）を受けたいとの声が増えています。これを受け、今年度はこうしたニーズに応えるべく、国際交流基金が作成したオンライン教材「いろいろ生活の日本語」の効果的な活用方法について学ぶ機会を設けました。そして、模擬授業を通じて、その実践的な指導法を参加者の方々に体験していただきました。本教材を、ぜひご活用いただきたく存じます。

やさしい日本語講座

講師：吉開 章氏
 （やさしい日本語ツーリズム研究会）
 日時：7月4日（木）14：00～16：00
 開催場所：TOPIA会議室（ハイブリッド開催）



現在、世界のほとんどの国や地域から、外国人が旅行者として、また居住者として来日しています。そのため、彼らとのコミュニケーションツールの一つとして、「やさしい日本語」の活用が推奨されています。「やさしい日本語」とは、外国人に対して配慮された、わかりやすく簡単な日本語を指します。この「やさしい」という言葉には、「優しい」と「易しい」という二つの意味が込められています。

吉開講師の講座では、「ハサミの法則」（はっきり言う／最後まで言う／短く言う）の重要性や、敬語、オノマトペ、そして日本語特有の曖昧な表現を使わないことなどについての説明がありました。

TOPIAでは、自治体や企業、各種団体に向けて「やさしい日本語講座」を随時開催していく予定です。ご関心のある方は、ぜひご連絡ください。

令和6年度 後期日本語教室

TOPIAでは、徳島県内にお住まいの外国人の方を対象に日本語教室を開催しています。

開始日：9月19日（木）～ ※レベルにより曜日が異なりますので、詳細は当協会のホームページにてご確認ください。

時間：10:30～12:00 場所：TOPIA会議室 受講料：無料

*初級Ⅱ・Ⅲ（木）のみ9月19日から開始します。ほかのクラスは10月より開催。



夏休み子ども日本語教室(サマースクール)



講師：JTMとくしま日本語ネットワークの会員の皆様
 日時：7月22日（火）から8月2日（土）までの8日間 10：30～12：00
 開催場所：TOPIA会議室

今年は、モンゴル、中国、フィリピン、ペルー、韓国、ガーナ、アメリカ、マレーシア、ネパール、日本（計10か国）にルーツを持つ小中学生20名がサマースクールに参加しました。

教室では、個々の生徒の希望にあわせ1時間の個別学習後（日本語学習や夏休みの宿題）、担当講師による30分の全体学習（まちがいさがしやオノマトペなど）を実施しました。

さらに、毎日、個々の夢や思いを語る1分間スピーチを、7月27日には日本の学校についての「ガイダンス」などを行いました。この8日間で、子ども達にとって、2学期から始まる学校生活を前向きに頑張っていく原動力になるよう願っています。最後に今年も熱心に、そしてあたたかい心で御協力頂きましたJTMの皆様にご感謝申し上げます。



令和6年度 地域日本語支援ボランティア養成講座

日時：9月30日（月）～11月28日（木）19：00～20：30
 開催場所：オンライン開催（実地研修あり）
 実施団体：東みよし町国際交流協会
 皆様のご参加をお待ちしております！
 詳細はTOPIAホームページをご覧ください。



ホームページから
 申込できます！



あらかわ連

8月14日（月）、阿波おどり交流事業「あらかわ連」を実施しました。今年は、インドネシア、スリランカ、イギリスなど16か国から約30名の参加者が集まり、有名連「のんき連」のご協力のもと、総勢約100名で演舞場に繰り出しました。

当日は晴天に恵まれ、参加者たちは「世界は一つ、争われん」と大きな掛け声をかけながら、二拍子のリズムに合わせて演舞場に繰り出し、阿波おどりを満喫しました。その姿は、世界の平和を願う強い思いが込められたものでした。

本事業に、ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。来年度も皆様と共に再び演舞場に繰り出せることを楽しみにしております。



「令和6年度TOPIA多文化共生セミナー」を開催

7月10日（水）、「令和6年度TOPIA多文化共生セミナー」を開催しました。講師には、一般財団法人ダイバーシティ研究所の代表理事 田村太郎氏をお迎えし、「外国人受け入れとこれからの地域づくり～多様な“みんな”でつくる、持続可能な徳島の未来に向けて～」というテーマでご講演いただきました。

セミナーには、県内の外国人相談支援に関わる関係部署や専門機関、地域国際交流協会、地域日本語教室の実践者、一般の県民など約100名が参加しました。田村氏は、ダイバーシティ推進の重要性や、日本における外国人の状況、多文化共生の経緯について説明し、持続可能な地域づくりのために必要な視点を紹介しました。

参加者からは、「ダイバーシティの重要性を再認識した」「外国人を『イノベーション』をもたらす人材として受け入れるべき」「地域社会を魅力あるものにする視点が大事」といった感想が寄せられました。セミナー後、内容を広く共有する必要があるとの声もありました。

TOPIAは地域関係者と連携し、多文化共生の推進に努めていきます。



※本事業は、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の地域国際化推進アドバイザー派遣事業を活用して実施しました。

多文化共生と防災意識の醸成を目指して



8月10日（土）、徳島市昭和町公園で、中昭和町1・2丁目自主防災会と連携し「TOPIA防災出前講座」を開催しました。この講座は、地域の防災意識を高める阿波おどりイベントの一環として実施されました。

講座は、宮崎県沖で発生した日向灘地震を受け、南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）が発表されている中での開催となり、在住外国人の災害への関心が高まりました。

防災講座には、中国、アメリカ、ドイツ、インドネシア、ミャンマー、フィリピン、インドの7か国から約20名が参加。フリップやクイズを使い、臨時情報の内容や日本での災害種類、対応方法、避難場所、自主防災会の役割などを説明しました。

参加者からは、「臨時情報で不安を感じた」「地震に備えた準備が重要だと実感した」「阿波おどりを通じて地域の人と交流できた」との声が寄せられました。

中昭和町1・2丁目自主防災会は、地域の防災意識を高めるため、定期的にイベントを開催し、住民同士の交流を深めています。外国人住民との交流の機会を提供し、地域との結びつきを強化することが目的です。

今後もTOPIAは、地域団体と連携し、多文化共生と防災意識の向上に努めていきます。



JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で 世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

10月6日(日) JICA海外協力隊ってな～に？経験者との交流イベントを開催します。

○10月6日(日)14時～16時までJICA海外協力隊経験者との交流イベントを実施します。(12時～13時半はワークショップイベント)

JICAボランティア事業では、開発途上国の要望に合った技術、知識、経験を持った方で「開発途上国の人々のために生かしたい」と考える方々を年に2度(春と秋)募集し、選考、訓練を経て現地へ派遣します。派遣される人のことをJICA海外協力隊と呼びます。JICA海外協力隊は、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。現在まで99か国へ5万人以上の派遣を行ってきました。職種も様々で180種類以上の職種があります。2024年度秋募集の応募期間は10月1日～10月31日です。秋募集受付に伴い徳島県では、文化の森総合公園、徳島県立図書館3階集会室1で10月6日(日)14時～16時に協力隊員との交流イベントを実施いたします。イベントでは、協力隊経験者から現地での活動の様子を直接聞くことができます。様々な国で活動された方々からのお話はきっとあなたの何かのきっかけとなると思います。なお、同日12時～13時半は、ワークショップイベントを実施予定ですのでこちらも是非、お気軽に足を運んでみてください。皆様とお会いできること楽しみにしております。



(2024年度春募集時の様子)

JICA
海外協力隊

【お問い合わせ・資料請求】
JICA海外協力隊募集事務局
TEL : 045-410-8922

JICA海外協力隊



<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>



徳島県青年海外協力協会(OV会)主催のサマーキャンプに参加しました。

○8月2日(金)～3日(土)までサマーキャンプに参加しました。

徳島県青年海外協力協会主催で徳島県上勝町に高校生総勢26名(福島県、熊本県、徳島県)を集め4泊5日間のキャンプを実施しました。JICA研修員2名とJICA徳島デスクは1泊2日のみでしたが参加させていただき、各県の高校生達と異文化交流を行いました。2日目には、研修員に「母国について」「夢について」「日本に来て感じたこと」などを発表していただきました。世界地図を使い、国がどこにあるか確認したり、英語以外の言葉を使った自己紹介の方法を聞けたりと終始楽しい時間となりました。このキャンプを通じてお互いのことを知り、共通点や違いを楽しむきっかけとなったように感じました。貴重な機会を頂きありがとうございました。JICA徳島デスクも随時イベントを開催していますので、是非下記にアクセスして情報をキャッチしてみてください！過去のイベントの様子もご覧いただけます。



集合写真

イベント予定や過去のイベントについての詳細は、JICA四国Facebookをご覧ください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構(JICA)四国センター
〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1階
電話番号:087-821-8824 ファックス:087-822-8870 メール:jicaskic@jica.go.jp

JICA四国 Facebook



<https://www.jica.go.jp/shikoku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>



JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク: 徳島県国際交流協会(TOPIA)内/徳島県国際協力推進員 服部

TEL: 088-656-3303 Email: jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP: <https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

募 集 中

徳島県には約90か国、7,949人（県人口の87人に1人）の外国人の方が住んでいます。加速する少子高齢化と労働者の不足により、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。



徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんにとって、暮らしやすい地域社会であることを目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、ベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に來所いただくか、お電話下さい。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

(1) 多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2) 電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】21言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語

(3) 映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

(4) 対面式通訳機(ポケットーク)の導入(74か国語)

(5) 多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

閉所日：年末年始

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>